

大学院進学感想

王少民

私は河南大学日本語学科 4 年生に、大学の交換留学生プロジェクトを通して日本の大正大学で一年間留学しました。日本の大学院に進学したいと考えていた時に、先輩から亜細亜友之会外語学院を紹介して頂きました。卒業後、7月にすぐ亜細亜友之会外語学院の大学院進学クラスに進学しました。日本語学校に入ってから、本当の意味の大学院受験生活が始まりました。学校の先生の熱心なご指導のおかげで、国立名古屋大学大学院、国立広島大学大学院、法政大学に合格しました。

亜細亜に進学したばかりの頃、学校の厳しい規則にあまり慣れなかったのですが、自分のような自制心の弱い人間にとっては、むしろ厳しく管理されるほうが好都合だと思います。厳しい管理体制と高い責任感を持つ先生方が、亜細亜に高い進学率をもたらしていると思います。

大学院で経営を勉強したいという漠然とした目標だけを持っていました。しかし、少し経営の本を読んでみたら、経営の中でも会計、企業戦略、政策などの数え切れないほどの分野があって、自分の本当に興味がある分野を見つけ出すのは大変でした。最初に書いた研究計画書も本当に自分のやりたい内容ではなく、ただ先生の宿題提出に間に合わせるためのものでした。先生と数回の進路面談を通じて、同時に経営学の入門書を読んでいるうちに、やっと本当に研究したいテーマ「企業の社会責任」に辿り着きました。

自分の長所をいって言えば、素直に先生の話に従って行動することだけだと思います。大学院に合格できたのも先生方の厳しい指導があつてのことだと思います。院進クラスには、研究計画書作成の授業があります。研究計画書の構造、文型、文体などを細かく教えていただきました。研究計画書授業の進み具合にあわせて、自分の研究計画書の内容を修正したり、表現を直したりしていました。そのほかに、大学院進学クラスの授業では、NHKのホームページに掲載されている社会問題に関する文章を読解の素材として利用し、その後皆んなで意見を言い合っていました。この授業を通じて、現代日本社会に関する知識を深めることができました。授業で取り上げられた文章だけでなく、自分の研究テーマに関する新聞記事を切り抜いて、自分の勉強ノートを作りました。大学院の入試問題に先生の授業で取り扱った話題が出て、本当に感激しました。

経営学の受験に関して、まず経営学入門の本を三冊位読んだほうがいいと思います。理論的な本だけではなく、時事ニュース・経済ニュースに注目して、いかに自分の研究テーマに関連付けることを考えなければなりません。大学院の入試問題の殆どは経営の知識を利用して、現在の経済情勢と経営の問題を解釈或いは解決する類のものです。名古屋大学大学院の社会環境専攻の入試問題は社会経済、社会学、社会環境などの分野から 2 問の論述問題を選んで答えます。その後は専門英語と面接試験があります。

たくさんの日本語学校から亜細亜友之会外語学院を選んで、本当に良かったと思っています。長い間、お世話になりました。先生方のご恩は一生忘れません。ありがとうございました。

2015 年 2 月